

この「相澤病院PETつうしん」は、医療関係者向けの内容となっております。一般の方には難しい内容になっているかもしれませんがご了承ください。

相澤病院ポジトロン断層撮影センター

☆☆☆【予約状況】☆☆☆

◆予約状況 通常予約 6月 8日(月)以降可能
(至急検査を希望される場合は、ご相談下さい)

◆休診予定(保険診療)

6月 6日(土)、7日(日)、14日(日)、20日(土)、21日(日)、28日(日)
7月 4日(土)、5日(日)、11日(土)、12日(日)、19日(日)、20日(月)、25日(土)、
26日(日)

☆☆☆【各疾患におけるFDG-PET】☆☆☆

《悪性リンパ腫 後編》

● 組織型によるFDG集積の違い

一般に悪性リンパ腫は大変強いFDG集積を呈します。病変のSUVmaxが20を超えるような腫瘍は、悪性リンパ腫を疑います。Aggressive lymphomaは高集積、indolent lymphomaは中等度～低集積であり、濾胞性リンパ腫やMALTリンパ腫では集積が弱いことが多々あります。末梢性T細胞リンパ腫はaggressiveですが集積が低いことがあります。「悪性リンパ腫は強いFDG集積とは限らない」です。診断には生検が必要ですが、適切な生検部位の選択にもFDG-PETは有用です。

● 治療効果判定

大きな腫瘍を形成する悪性リンパ腫の場合、腫瘍細胞が消失しても瘢痕組織が腫瘍として残存する場合があります。このような場合、CTではいつまでたっても「残存腫瘍あり、経過をみて下さい」としか診断できませんが、FDG-PETでは集積の有無によって活動性腫瘍が存在するか否かを判断することが可能です。PETが最も有用な場面の一つですね。2007年にJ Clin Oncol誌に、悪性リンパ腫の治療効果判定にPETを用いることやその使い方、判断基準が示されました。

また、治療中の効果判定・予後予測にもFDG-PETが有用であり、化学療法1-4サイクル後のPETで、集積が残存する場合は80%以上が再発、集積が消失している場合は90%以上が再発しないと言われます。悪性リンパ腫の診断・治療に際して、FDG-PETはいまや必須のツールとなりました。

おまけ)

・・・ですが未だに「治療効果判定」は保険適応にうたわれておりません。

◆◎◆【PET 担当看護師より】◆◎◆

～他の検査後のPET検査実施の時期について～

PET検査以外の検査を同時期に平行して実施予定の場合に、検査の内容によってはPET検査の期間を空けていただいたほうが良い場合があります。

1. 内視鏡検査で組織採取をした場合

組織を採取した部位の炎症だけでなく、周囲のリンパ節にも炎症が及んでいる可能性があり、集積があると病変との区別がしにくくなります。

2. 注腸やMDL実施の場合

合成画像用に撮影しているCT画像が見えにくくなり、診断が難しくなります。

★ご予約の際に、上記のような検査を予定している場合は、お知らせ下さい。

期間を考慮してご予約させていただきます。

但し、手術・治療を急ぐ場合はこの限りではありませんので、ご希望をお知らせ下さい。

PETつうしんの感想やご意見、取り上げてほしいことなどがありましたらお知らせください。

現在、「相澤病院PETつうしん」を読んでもいただける医療従事者の方を募集しています。

<新規にメール配信を希望>される方は、氏名、勤務先、診療科、メールアドレスおよび希望の内容等をご記入の上お知らせ下さい。

また、勤務先、メールアドレスの変更をされる方またはメールの再開の方も次のアドレス宛お知らせ下さい。

(お電話での受付けも可能ですので、お気軽にお問合せ下さい。)

E メールアドレス

ai-pet@ai-hosp.or.jp

=====

※ PET検査について不明な点、お困りの点などございましたら、お気軽に下記までお問合せください。

=====

社会医療法人財団慈泉会 相澤病院

相澤ポジトロン断層撮影 (PET) センター

http://www.ai-hosp.or.jp/sinryouka/center_pet/index.htm

TEL : 0263-33-1515 (直通) 9:00~17:30 (日祝日を除く)